

# 第71回 日本文学協会国語教育部会 夏期研究集会のご案内

## テーマ 〈読む〉ことの価値の創造

日本文学協会国語教育部会

子どもたちは物語を読むことが好きです。教室ではたくさんの疑問が生まれ、応答が始まり、話し合いが続きます。「そういう考えもいいね」「おもしろい見方だね」とどれをも認めることが多いように思います。あるいは、基本的な読みは、必ず押さえなければならないという考えもあります。子どもたちの読みを一元化することからも、並列化し、自己主張を単に容認することからも、新しい価値は生まれません。自己を正当化している自分の読みに気づき、壊し、創造していくことが、一人ひとりの〈いのち〉を育てると考えます。文学作品を読むという行為は、状況を読む、世界を読む等の生き方や倫理を問うことにつながります。〈いのち〉を支える営みです。

私たちはそれぞれ自分の頭の中に作り上げた世界を生きています。相手との関係においても、それが自分の頭の中に作り上げた相手と関わっています。異なる世界を生きる人同士がそれぞれの〈いのち〉を輝かせ、ともに生きるためにには、自分の認識する世界が自分だけの世界であることを理解したうえで、その世界を外へ拓こうとすることが必要になります。自分で捉えられないものがあると認識する世界観です。

こうした世界観認識に立ち、私たちは文学作品の世界における〈他者〉(謎)の問題を継続して検討してまいりました。しかし、定式化した「読み方」を当て嵌めれば、どんな文学作品も読めるという魔法はありません。それぞれの文学作品がそれぞれの〈他者〉(謎)の問題を内包させているからです。そのためには〈プロット〉(叙述)をなぜそう語るのかという〈メタプロット〉に着目することが肝要なのだという地点まで私たちは現在考えを進めています。

つまり、〈メタプロット〉を語る〈語り〉の〈仕掛け〉、〈仕組み〉をそれぞれの読者が読み解いていくことです。作者がそういう〈仕掛け〉を作中に仕組んでいるからです。見えていたり見えていない世界に〈仕掛け〉られている〈仕組み〉を発見して、読者それが自分の読みを深めていくのです。そこに登場人物たちがそれぞれ懸命に生きる物語世界が孕む〈他者〉の問い合わせが浮上してきます。これを読者が我がこととして引き受けことで、それまでの読者の思い込みの〈読み〉は壊れ、新しい価値が創造されるのではないかと考えています。

ところで、今日の学校現場が抱えている学校制度の問題、家庭や子どもたちの問題は想像を絶するものです。この困難を引き受けてこそ私たちの実践研究の成果は真の有効性を持ちます。「文学の遺産は、広汎な民衆に基づく発展的民族的な建設に役立ってこそはじめてその意義をもち、国語教育もこのような立場から行われてこそはじめてその積極的な役割を果たすことができる」(日本文学協会綱領)が私たち国語教育部会の活動の依拠するところです。テーマは「〈読む〉ことの価値の創造」です。まだまだ、授業実践の上では多くの課題があり、道半ばです。たくさんの小中高等学校の現場授業者、国語教育研究者、文学研究者の方々にご参加いただき、共に「〈読む〉ことの価値」を語り合う、実りある2日間の夏期研究集会になることを期待します。

日 時 2019年 8月10日(土)～8月11日(日)

会 場 法政大学第二中・高等学校 (神奈川県川崎市中原区木月大町 6-1)

JR 南武線「武蔵小杉駅 西口」下車 徒歩 12 分

JR 横須賀線(総武快速線・湘南新宿ライン直通)武蔵小杉駅 横須賀線口 下車徒歩 15 分  
東急東横線・東京メトロ副都心線・東急目黒線 等「武蔵小杉駅 南口」下車 徒歩 10 分

## 日 程

### 10日(土) (全体会)

12:00～ 受付開始

13:00～ 開会挨拶 中村龍一(松陰大学)

13:20～ 基調報告 周非(都留文科大学)

14:15～ 問題提起 難波博孝(広島大学)

15:20～ 実践提案

　　中山勇夫(広島大学附属小学校) 『注文の多い料理店』

　　田木晃美(三重郡川越町立川越南小学校) 『スイミー』

　　山本富美子(北杜市立武川中学校) 『走れメロス』

　　岡田真範 (広島なぎさ中学校高等学校) 『鏡』

17:30～事務局連絡

### 11日(日)

午前の部 9:00～11:45 1日目の実践提案の振り返りと補足を受けての討議 (分科会)

　　小学校分科会 司会 中村龍一(松陰大学)

　　中学校分科会 司会 坂本まゆみ(元北杜市立長坂中学校)

　　高校分科会 司会 難波博孝(広島大学)

### 午後の部 (全体会)

12:45～14:15 講演 「語り合う文学教育の会がしてきたことと目指しているもの」

　　藤原和好(三重大学名誉教授)

14:30～16:30 午前の各分科会の報告および討議

　　司会 助川幸逸郎(岐阜女子大学)

　　報告 10日の実践発表者および11日の分科会の司会者

16:30～ 閉会挨拶 須貝千里(山梨大学名誉教授)

参加費 全日参加 4000円(ただし、学生は2000円) 一日参加 2000円(学生は1000円)

## 注 意

- ・参加申込は当日受付のみとなっております。
- ・駐車場の用意はありません。お車での来場はご遠慮ください。
- ・宿泊は各自で申し込みをお願いします。混み合うこともありますので、早めに申し込みください。
- ・一日目は終了後に懇親会を予定しております。

## お問い合わせ

中村龍一 e-mail : [dragonsan001@yahoo.co.jp](mailto:dragonsan001@yahoo.co.jp)